

名称: 退院後7日以内の予定外・緊急再入院割合

指標番号:

QIP: 2143

年度: 2012, 2014, 2016, 2018, 2020

更新日: 2020-11-09

指標群: マネジメント

名称: 退院後7日以内の予定外・緊急再入院割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数

分子: 分母のうち、前回退院から7日以内に計画外で再入院した患者

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち入院経路が一般入院を対象とする

2010～2013年度「2」、2014年度～「1」「4」「5」

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

前回退院日が今回の入院日から7日以内で、再入院調査の再入院種別が計画外の再入院である症例数（2012年度～2015年度 3. 予期せぬ再入院、2016年度～ 2. 計画外の再入院）

2:

再入院種別が、『2: 計画外の再入院』かつ、理由の種別が『6: 新たな他疾患発症のため』以外（2012年度～ 2015年度 1-3、5-6、2016年度～ 1-5、もしくは7の患者）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

1:

再入院調査は、前回退院年月日より6週間以内の再入院である場合の親様式1は入力必須となる。

指標で利用している再入院種別は、2012年度～2015年度は3つに区分（1: 計画的再入院、2: 予期された再入院、3: 予期せぬ再入院）され、2016年度からは2つに区分（1: 計画的再入院、2: 計画外の再入院）されている。なお、2012年度から2015年度の3: 予期せぬ再入院としては理由は5区分（1: 予期せぬ原疾患（前回入院時に医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2: 予期せぬ原疾患の合併症発症のため 3: 予期せぬ併存症（前回入院時の入院時併存症及び入院後発症疾患）の悪化のため 4: 新たな他疾患発症のため 5: その他）が設定されており、2016年度からの2: 計画外の再入院は7区分（1: 原疾患（前回入院時の主傷病と医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2: 原疾患の合併症発症のため 3: 前回入院時の入院時併存症の悪化のため 4: 前回入院時の入院後発症疾患の悪化のため 5: 前回入院時の手術・処置や治療の合併症が退院後に発症したため 6: 新たな他疾患発症のため 7: その他）が設定されている

定義見直しのタイミング:

